

おおつの歴史的風土と景観特性

●自然景観の特

日本最大の湖である「琵琶湖」と比良山系・比叡山をはじめとする山並みに挟まれ、湖の水辺、市街地、森林が非常に近接しています。

周囲の山上や丘陵などから琵琶湖を見晴らす景観、白砂青松の浜辺や市街地湖岸から望む緑の雄大な山並みなどは、大津を代表する景観です。

大津市は、琵琶湖と比良、比叡、音羽、田上等の山々や丘陵地に囲まれ、それらに挟まれた細長い平坦地に市街地や田園地帯が広がり、これらの山々から琵琶湖へ注ぐ幾つもの河川が平坦地を貫く地形的に特徴のある都市です。

比良・比叡等の山々や前山の緑、前面に広がる琵琶湖や瀬田川などの水辺を望む大景観は、人々にうるおいとやすらぎを感じさせる貴重な自然景観であるとともに、市民が大津らしさを感じる重要な景観となっています。さらに、背後の山並みから琵琶湖へと注ぎ込む幾つもの河川が、これらの山並みと市街地や田園地帯と琵琶湖などを繋ぎ合わせ、湖岸とともに特徴ある景観軸となって連続する眺望景観を生み出し、大津の景観をより魅力あるものとしています。

さらに、田上丘陵、堅田丘陵、比良山麓などに広がる広大な田園地帯は、人々の営みによって創り出され、背後の自然環境や集落の家並みと一体となって雄大で美しい風景となっています。



安曇川



浜辺から比良山系を望む



稲穂の緑田